

## ⚠ 使用上のご注意

※この保存容器は、通常の保存方法と比べますと長時間保存ができますが、保存開始時、食品に付着していた菌等に対する**減菌・殺菌作用はありません**ので、保存期間は適宜ご判断ください。特に火を通さないものは注意が必要です(生ものなどの傷みややすい食品や夏期は特に注意してください)。

- ※〈真空〉とは、大気圧より低い状態と認定(JIS)されています。全く空気のない状態ではありません。
- ※いったん蓋を開けると、空気中の雑菌が新たに入り込み、鮮度が落ちやすくなります。蓋を開けたら、容器内の食材はなるべく早めに使い切ってください。
- ※ホイップクリーム等の泡状のものや、粉状のものは保存しないでください。脱気中に真空ポンプに吸い込まれることがあります。
- ※食品を保存する前には、真空蓋・パッキングなどのゴム部品・容器をよく洗い、充分乾燥させてからご使用ください。
- ※色やニオイの強い食材を保存すると、色移りやニオイ移りをする場合があります。



電子レンジ  
使用 OK

## Vacuum Containers 真空3重丸

### ご使用の前に

- ・ご使用の前に本書の注意事項をよく読み、正しく安全にお使いください。
- ・本書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ・初めてご使用になる時は、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジでよく洗い、水分を拭き取ってからご使用ください。
- ・ご使用前には必ず、各部に亀裂、破損などの異常がないかをご確認ください。万一、不具合があった場合は、弊社までお問い合わせください。

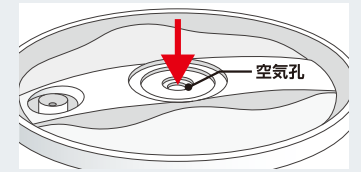
### ⚠ 取扱上のご注意 (耐用保証はありませんのでご了承ください)

- ・家庭用の保存容器です。**家庭用以外での用途では使用しないでください。**
- ・直接火にあてたり、オーブンやグリル、トースターなどで使用したりしないでください。また、火のそばに置かないでください。製品が熱くなり、本体の変形や、やけどの恐れがあります。
- ・落としたり、硬いものにぶつけるなど、無理な力や衝撃を与えないでください。製品の破損やケガの恐れがあります。
- ・鋭利な刃物などが当たらないようにしてください。製品が破損する恐れがあります。
- ・変形、破損した場合は修理や改造等をせず、ご使用を中止してください。
- ・使用中や使用後は、乳幼児の手に触れることのないよう注意してください。

### 【洗浄について】

- ・ご使用後は中性洗剤等でよく洗い、水分をよく拭き取ってから収納してください。

- ・真空蓋の中心にある真空栓とパッキングを外し、中性洗剤でよく洗った後、乾かして元通りにはめてください。
- ・特に、右図の真空栓の空気孔部分は汚れたり、異物が詰まらないようご注意ください。
- ※お手入れの際、真空栓・真空表示ボタン・パッキングを無理に引っ張らないようにしてください。変形や破損の原因となります。

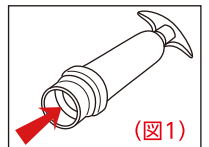


- ・食器洗浄機・食器乾燥機をご使用の際は、蒸気・熱風の吹き出し口のそばに置いたり、上に食器等をのせたりしないでください。製品が変形する恐れがあります。
- ・金属タワシやみがき粉で洗わないでください。傷がつく恐れがあります。

### 【別売の真空ポンプについて】

#### ●手動タイプ「真空ポンプ」

- ・分解・水洗いはしないでください。布きんなどで汚れを拭き取ってください。(食器洗浄・乾燥機の使用不可)
- ・動きが固くなった場合は、ポンプ内面にごく少量の食用油を塗ることで、スムーズさが回復します。(図1)



#### ●電動タイプ「ワンタッチ真空e-ポンプ」

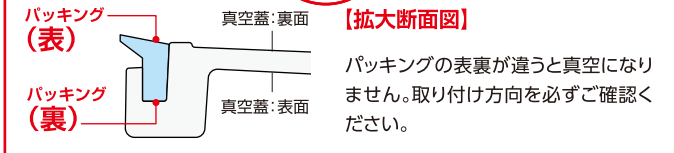
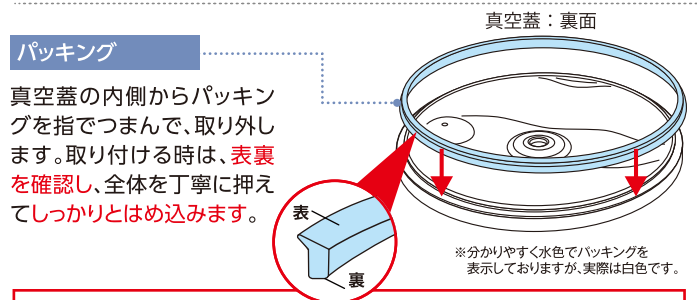
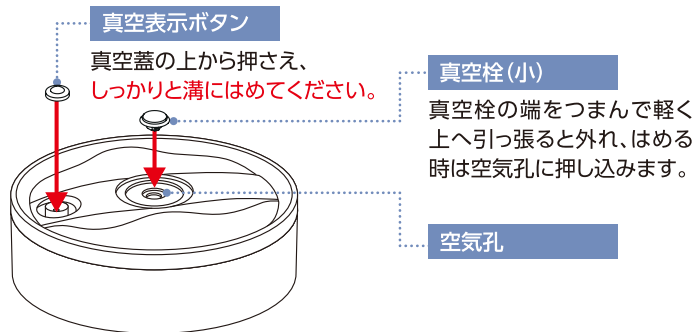
使用方法などについては、e-ポンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

### 故障かな?と思ったら お問い合わせの前に、次のことをもう一度お調べください。

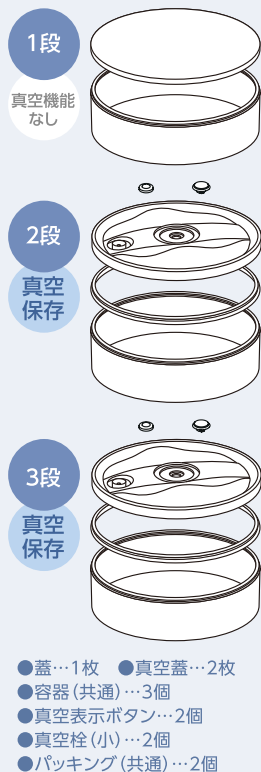
真空ポンプを動かしても空気が抜けない (5・6回動かしても真空表示ボタンが凹まない)	真空ポンプは垂直に立てた状態で空気を抜いていますか?	▶ 真空ポンプを垂直に立てた状態で再度空気を抜いてください。
	真空栓・真空表示ボタン・パッキングは正しく取り付けられていますか?	▶ 取り付け方を確認し、正しくはめてください。
	真空栓・真空表示ボタン・パッキング・真空蓋の中心部に異物が付いたり、汚れたりしていませんか?	▶ 真空栓・真空表示ボタン・パッキングを外し、真空蓋(特に中央の空気孔)をよく洗い、しっかりと乾かしてから取り付けてください。
真空にしても2~3日で蓋が開いてしまう	真空蓋が容器から浮いていませんか?	▶ 真空蓋がズレないように上からしっかりと押し付けてから再度空気を抜いてください。
	保存する食品等を入れすぎていませんか?	▶ 量を減らし、容器の上部に少なくとも容量の10%程度の空間をあけてください。
真空にしても2~3日で蓋が開いてしまう	空気抜きが不足していませんか?(手動の真空ポンプのみ)	▶ 真空ポンプ(手動)が重たくなるまで再度しっかりと空気を抜いてください。
	容器を傾けた状態で空気を抜いていませんか?	▶ 容器を水平に置いた状態で空気を抜いてください。
	真空栓・真空表示ボタン・パッキング・真空蓋の中心部に異物が付いたり、汚れたりしていませんか?	▶ 真空栓・真空表示ボタン・パッキングを外し、真空蓋(特に中央の空気孔)をよく洗い、しっかりと乾かしてから取り付けてください。

上記の方法を試しても、真空にならない場合や真空が続かない場合は、弊社までご連絡ください。

## <真空蓋>各部位の取り付け・取り外し方



## 内容一覧

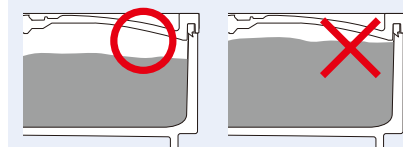



## 真空保存の方法と手順

- ① ご使用前に、**真空蓋**、**容器**などを中性洗剤とやわらかいスポンジでよく洗い、十分に乾かします。
- ② 容器に保存する食品を入れます(アルコールもご使用いただけます)。

食品を常温に冷ましてから、**真空蓋**に取り付けた**真空栓**・**真空表示ボタン**・**真空蓋**のパッキング部分に汚れがないことを確かめ、**真空蓋**と**容器**を合わせて正しくのせます。**※食品が熱いうちに真空にしないでください。**

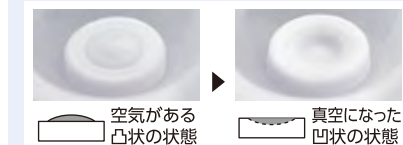
上部に空間を残すと真空効果が高まります。



- ③  真空蓋中央の「真空栓」を付けたまま、その上から真空ポンプを垂直に当てます。片手で真空ポンプを垂直に固定して、もう一方の手で真空ポンプを上下させて空気を抜きます。**通常2~3回で真空表示ボタンが凹むので、そこから更に真空ポンプが重くなるまで(10~20回位)空気を抜きます。**

真空蓋中央の「真空栓」を付けたまま、その上から真空ポンプを垂直に当てます。片手で真空ポンプを垂直に固定して、もう一方の手で真空ポンプを上下させて空気を抜きます。**通常2~3回で真空表示ボタンが凹むので、そこから更に真空ポンプが重くなるまで(10~20回位)空気を抜きます。**

## 真空表示ボタンの確認



- 空気はしっかりと抜いてください。空気の抜き方が足りないと、1~2時間で真空でない状態に戻ることがあります。
- 真空になったら冷蔵庫または室温で保存してください。室温が高い場合は冷蔵庫で保存してください。

- ④  真空蓋を開ける時は、真空栓の端をつまんで軽く上に引っ張り、空気を入れて開けます。

**※ドーム蓋に真空機能はございません。**

## 各部位の名称・価格



- ① ドーム蓋：1,100円 ※真空機能なし
- ② 真空表示ボタン：220円
- ③ 真空栓(小)：550円
- ④ 真空蓋：単品販売なし
- ⑤ パッキング：770円
- ⑥ **真空蓋一式(②~⑤蓋部品4点セット)：3,300円**
- ⑦ 容器部：2,200円

※部品価格は税込価格です。  
※部品価格は予告なく変更する場合があります。

●材質/容器・真空蓋・ドーム蓋:ポリプロピレン、真空栓・真空表示ボタン・パッキング:シリコンゴム●サイズ/外径15.8×高さ15.4cm(3段重ね)、容器1段の高さ/真空蓋使用時:5.6cm、ドーム蓋使用時:5.4cm●重量/3段:630g、1段(容器・真空蓋):220g、1段(容器・ドーム蓋):190g●容量(容器1段)/0.65ℓ●耐熱温度/120℃●耐冷温度/-20℃●ゴムバンド、取扱説明書付属 ※サイズ、重量はすべて蓋(真空時)を含む、※ドーム蓋に真空機能はありません

真空保存容器には、別売のポンプ(手動または電動)どちらかが必要です。

## 電子レンジ加熱の方法と手順

- ① **【真空蓋の場合】**



電子レンジ加熱する前に**必ず、真空栓を取り外してください。**

- ① **【ドーム蓋の場合】**



電子レンジ加熱する前に**必ず、ドーム蓋をずらしてください。**

- ② 真空蓋をしたまま電子レンジに入れ、加熱してください。  
**※手動500W~600Wの出力で加熱してください。**



加熱後、真空蓋中央の穴(空気孔)や蓋の隙間から熱い蒸気が出てくる場合がありますので、取り出しや真空蓋を開ける際はご注意ください。

## ⚠ 電子レンジ使用時のご注意

- 油分が多い食材(カレー、ミートソース、揚げ物など)を加熱する場合は、油分が高温になり耐熱温度を超えてしまい、変形、破損などの恐れがありますので、他の容器(陶器等)に移し替えて加熱してください。
- 加熱後、食材が熱いうちに真空蓋に真空栓を取り付けた状態で放置しないでください。変形する場合があります。
- オート加熱、おまかせ加熱では使用しないでください。電子レンジによってはオープン機能が働かず、加熱すぎて変形する場合があります。